

TOPICS & INFORMATION

# 特報 JPBA 坂本かやが大岡産業レディースを制す!



▲「最後まで何が起るか分からないので一投一投、集中力を切らさずに投げる事ができた」と優勝の坂本。東海OPでの悔しい敗戦が糧に

7月28～30日の3日間、大阪府松原市のボウルアロー松原店にて開催されたJPBA主催の女子プロ公式戦「大岡産業レディース『THE OPEN』トーナメント2023」は、同大会の特別協賛：(株)大岡産業の契約プロでもある坂本かや(49期/永山コパボウル)がうれしい大会初優勝を飾り、通算勝利数を6に伸ばした。  
予選16G・準決勝4G・決勝ラウンドロビン8Gを経て1G

マッチのTV決勝ステップラダーに勝ち進んだのは、トップシード



▲2位・霜出(左)と3位・石田。石田はストライク数で霜出を上回りながら勝負どころの1ミスに泣き、霜出も優勝決定戦では不運な1オーバーンに天を仰いだ。なお、ベストアマは総合22位の熊田菜奈海選手(CKボウル)が獲得している

の坂本以下、石田万音、霜出佳奈の3名。今大会では全日本選手権同様の再優勝決定戦制が採用されたが、坂本は3位決定戦をノミスの246で勝ち上がってきた霜出(敗れた石田は237)を、さらに上回るノミスの259(霜出217)で退け、1Gで決着をつけた。  
「どうしても勝ちたい大会だったので、最高のカタチで終われてすごくうれしい」と坂本。惜敗続きにピリオドを打った今季初勝利のゲーム内容は、彼女のさらなる進化を印象づけた。

# シーズントライアル2023サマーシリーズ 4会場で熱戦を展開

JPBAのシーズントライアル(ST)2023スプリングシリーズが3シリーズぶりに4会場で開催され、各会場とも予選8G・準決勝4Gを経て上位8名がシュートアウト方式の決勝(1Gマッチ)にて優勝を争った。上位入賞者は以下のとおり。  
●B会場(7月12日/川崎グランドボウル=60名参加)  
優勝：高田 浩規(52期)  
第2位：山下 昌吾(44期)  
第3位：山本 勲(44期)  
●D会場(7月13日/ミスズボ

ウル=39名参加)  
優勝：北原 泰輔(57期)  
第2位：深澤 健一(48期)  
第3位：田中 義一(60期)  
●A会場(7月19日/宇都宮第二トーヨーボウル=56名参加)  
優勝：小林 哲也(48期)  
第2位：佐藤 貴啓(57期)  
第3位：斉藤 祐哉(49期)  
●C会場(7月19日/東名ボウル=80名参加)  
優勝：江川 司(57期)  
第2位：水野 耕佑(56期)  
第3位：玉井慎一郎(37期)



▲ST初優勝の北原(左)と江川。なお高田は同2勝目、小林は4勝目(©JPBA)

# NBF 第48回全日本シニア選手権 7月15・16日 厚別パークボウル

男子・橋本篤、女子・安藤静江 両選手が大会初V!  
NBF(日本ボウラーズ連盟)主催の「第48回全日本シニアボウリング選手権大会」が7月16・17の両日、北海道札幌市の厚別パークボウルに男子133名・女子62名のシニア会員(満50歳以上)が参加して開催された。

競技はH/Cありのシングルス戦。男女とも予選9G・準決勝3Gを経て上位各8名が決勝3Gを投球し、計15Gトータルピンで優勝を争った。その結果、男子は橋本篤選手(奈良)が3605(スクラッチ3470)、女子は安藤静江選手(千葉)が



▲男女優勝者。橋本選手(左)は「ボールの選択がうまくいって勢いに乗れた」、安藤選手は「予選15位通過だったので、準決勝・決勝は開き直って投げた」とそれぞれコメント(©NBF)

3323(同3068)のスコアで、ともに大会初優勝を飾った。

# NHK杯のDVDを3名様にプレゼント

JBC最高峰の男女別個人戦「NHK杯争奪第56回全日本選抜選手権大会」(5月19～21日、新狭山グランドボウル)の熱戦の様子を収録したDVDを、主催者のご厚意により本紙読者3名様にプレゼントいたします。  
ご希望の方はハガキに①住所②氏名③電話番号を明記の上、〒181-0013 東京都三鷹市下連雀4-11-4-201 (株)B.Jプラネット DVDプレゼント係宛にご応募ください。締切は8月31日消印有効。なお、当

選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。



# 第22回香川オープン讃岐CUP2023 144名が参加して盛況裡に開催

香川県ボウリング場協会主催の「第22回香川オープンボウリングトーナメント 讃岐CUP2023」(JPBA承認大会)が7月2日、丸亀市の丸亀スターボウルに県内の選抜予選を勝ち抜いたアマ126名、JPBA中国四国地区在籍プロ16名、招待プロ2名(内藤真裕美、前土佐濤)の計144名が参加して

盛況裡に開催された。競技は年齢性別ハンデありの個人戦で、予選6G・準決勝3Gを経て上位24名が1Gマッチの決勝トーナメントにて覇を競った。その結果、決勝戦は竹本圭実(54期)と堀田紘佑選手のプロ・アマ対決となり、竹本が215:199で制して優勝、プロの面目を保った。敗れた堀

田選手がベストアマ、3位には小池沙紀(49期)が入賞した。



▲総合優勝の竹本

トーナメントカレンダー		
開催日	大会名	開催センター
《アマチュア》		
9月8日(金)～9日(土)	ラウンドワンGCB2023 JBC決勝大会	ラウンドワンスタジアム京都伏見店(京都)
9月9日(土)～10日(日)	ABBF第50回全国実業団体個人選手権	稲沢グランドボウル(愛知)
《プロ・オープン》		
8月24日(木)～25日(金)	ドリスタカップ2023男子新人戦	ドリームスタジアム太田(群馬)
9月1日(金)～3日(日)	JPBAプレイヤーズドリームマッチ	ドリームスタジアム太田(群馬)
9月6日(水)	ラウンドワンGCB2023 JPBA予選ラウンドK	ラウンドワン半田店(愛知)

最新の技術・豊富な経験を持つ **ドリラー 6名在籍**

当センター専属プロボウラー  
時本美津子プロ 鈴木理沙プロ 名和秋プロ 市原電太プロ 永野すばるプロ 金子萌夏

JR横浜線・相模原駅徒歩2分  
**相模原パークレーンズ**  
http://parklanes.jp/ TEL.042-755-1110

オンラインショップのパイオニア  
今すぐアクセス